

一般乗合旅客自動車運送事業(乗合バス)の運賃の上限変更認可申請について

北陸鉄道㈱、北鉄金沢バス㈱、北鉄白山バス㈱(以下、「金沢地区3社」という)および北鉄加賀バス㈱がかねてより申請しておりました、一般乗合旅客自動車運送事業の運賃の上限変更につきまして、本日、国土交通省北陸信越運輸局より公示されましたので、お知らせいたします。

記

1 申請理由

当社グループの乗合バス事業は、コロナ禍以降、利用者数は回復傾向にありますが、前年度に約8億円の営業赤字を計上するなど依然厳しい経営環境が続いております。加えて、人口減少をはじめ、時間外規制や勤務間インターバルなどのいわゆる2024年問題など、この先も厳しい状況が続くものと見込まれます。

こうした中、老朽化した施設や車両の更新、慢性的な乗務員不足やそれを解消すべく取り組む雇用条件の向上施策など、将来にわたり高質な輸送サービスを安定的かつ持続的に提供し公共交通としての使命を果たしていくには、現状の運賃収受による収入では改善しかねる状況であることから、当社のさらなる経営努力を前提として、運賃の上限変更認可申請を提出いたしました。

2 申請概要

(1) 申請日

2025年10月15日(水)

(2) 運賃改定実施日

2026年2月1日(日)(予定)

(3) 実施会社

北陸鉄道㈱、北鉄金沢バス㈱、北鉄白山バス㈱、北鉄加賀バス㈱

(4) 上限運賃の平均改定率

北陸鉄道㈱:18.59%、北鉄金沢バス㈱:18.42%、北鉄白山バス㈱:20.20%、北鉄加賀バス㈱:32.17%

(5) 現行・申請運賃比較表

今回の運賃改定は、金沢地区3社で一律10円、北鉄加賀バスで30円～40円の運賃値上げを予定しています(いずれも一部除く)。

			現行運賃	申請上限運賃※1	実施運賃 ※2(予定)
金沢地区3社	地帯制エリア	第1地帯	210円	220円	220円
		第2地帯	240円	250円	250円
		第3地帯	260円	270円	270円
	対キロ区間 基準賃率(初乗運賃)		43円30銭(180円)	56円51銭(190円)	(190円)
北鉄加賀バス	対キロ区間 基準賃率(初乗運賃) ※3		37円10銭(150円)	56円51銭(190円)	(190円)
			38円00銭(160円)		
			47円30銭(160円)		

※1 上限運賃とは、一般乗合バス事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額です。

※2 実施運賃とは、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客様から収受する運賃額です。

実施運賃については現時点での予定であり、変更となる場合があります。申請上限運賃の認可後に届出を行います。

※3 北鉄加賀バスには現在3つの基準賃率があるため、今回の運賃改定で統一します。

(6) 主要区間の運賃比較

区間	現行運賃	実施運賃(予定)
金沢駅～香林坊	210 円	220 円
金沢駅～有松	240 円	250 円
金沢駅～寺地	260 円	270 円
金沢駅～金沢大学	380 円	390 円
金沢駅～南部車庫	520 円	530 円
香林坊～金石	390 円	400 円
香林坊～県庁前	320 円	330 円
小松駅～小松空港	280 円	310 円

3 定期券の取り扱い

通勤・通学ともに定期券の割引率は変更しませんが、定期券運賃は改定後の区間運賃が適用されます。
なお、下記の定期券における料金改定や、定期券を活用した割引制度の廃止がございます。

(1) シルバー定期券

月数	現行	改定(予定)
1 カ月	7,330 円	8,170 円
2 カ月	14,660 円	16,340 円
3 カ月	20,950 円	23,280 円

※2 月 1 日から「シルバーパス」に名称変更予定

(2) 角間地区フリー定期券

月数	現行	改定(予定)
1 カ月	6,280 円	7,000 円
2 カ月	10,480 円	14,000 円
3 カ月	14,670 円	19,950 円
4 カ月	16,760 円	22,400 円

(3) 定期券を活用した割引制度の廃止

- ・通勤定期ファミリー土日祝割引
- ・いしかわ動物園のグループファミリー割引

4 輸送人員および収支状況(北陸鉄道㈱、北鉄金沢バス㈱、北鉄白山バス㈱、北鉄加賀バス㈱)

項目		輸送人員	収支状況
令和 5 年度	(実績年度)	23,966 千人	107,613 千円
令和 8 年度 (推定)	現行	24,170 千人	△1,024,779 千円
	改定	23,735 千人	△658,136 千円

※令和 8 年度推定における改定後の輸送人員および収支状況は、申請運賃での推定数値

5 これまでの経営改善と今後の取り組み

当社グループではこれまで、ご利用実態に即したダイヤ改正をはじめ、小松・加賀・金沢地区の路線バスや小松空港リムジンバスおよび能登方面特急バスにクレジットカード等によるタッチ決済を導入するなど、利用者の利便性を向上させることで収支改善を図ってきました。

今後も、金沢 MaaS への積極的な参画や需要動向に即したバスダイヤ設定をはじめ、引き続き乗務員不足に対する会社見学会の開催や大型バス運転体験会を通じた採用活動の強化により、適正な乗務員の確保に取り組むことで持続的な公共交通維持に努めていきます。

6 サービス向上への取り組み

(1) バス車両の更新

安全性および快適性の向上を図るため、随時バス車両の更新を実施。

(2) バス・鉄道定期券の発売券種統一

令和 8 年 2 月 1 日から、バス通勤・通学・連絡・K パーク定期券で 6 カ月定期を新設予定。

※企業定期券は、6 カ月定期の新設により廃止。

※鉄道通学定期券(12 カ月)は廃止。

(3) 定期券購入可能日の前倒し

令和 8 年 2 月 1 日から、新規購入可能日を継続購入可能日と同様、14 日前に延長予定。

(4) バスロケーションシステムの更新

今年度中にバスロケーションシステムの更新を実施予定。

(5) デジタル乗車券二次元コード対応

令和 7 年 9 月 25 日から、目検の必要がなく、二次元コードを端末にかざすだけでスムーズな乗降が可能となるデジタル乗車券の取り扱いを開始。

(6) イベントに合わせた企画乗車券の販売

令和 7 年 10 月開催のイベントに合わせてデジタル乗車券の金沢ショッピングバス 1 日フリー乗車券を販売。今後も実施予定。

以上